

バンクーバーで人間居住会議

世界的な行動計画を喚起



「世界は、この会議で、人間居住の諸問題に関する、幅広い国際的かつ国内的行動計画を立て、そして願わくば実施するであろう。ことは急を要する。都市や町や農村では、大きな変化が起きており、われわれはときにその全体的な影響を把握するできない。わずか二五年以内に、人間共同体の約束ごとや、多くの場合、その性格あるいは将来の展望さえも、根本的に変わってしまうだろう。われわれの見通しが正しければ、今世紀末までに人口約六五億のうち三五億が人

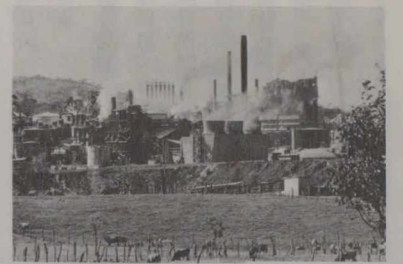
口二万人以上の居住地に住むようになる。これらの居住地は人口増加の二倍の割合で大きくなり、人口二百万から三百万の都市はそのまた二倍の早さでふくれるだろう。これは、今後二五年間に、有史以来人間が作ってきたと同じだけの人工居住環境を作ることの意味する——カナダのダンソン都市問題大臣。

* * *

五月三十一日から六月十一日まで、カナダのバンクーバーで国連人間居住会議（ハビタット）が開催される。これは、一段と激化しつつある人口増加と都市集中による諸問題の解決を図り、いわば人類が現在直面している人口、食糧、エネルギーの供給と配分、限られた資源、環境汚染などをひっくり返すため、人間生活全体を質的に向上させよう、というもので、約一三五カ国から二千人以上の代表が参

加する予定。国連としては最大の会議になる。

「人間居住」（ヒューマン・セツツルメント）という新しい概念は、



「市や町や村などの人間共同体と、それを支える社会的、物質的、組織的、文化的諸要素の総体」という意味で、具体的には住宅、衛生、レクリエーション、教育施設の整備、土地利用計画や都市における輸送機関の開発、地域開発計画への住民参加、食糧や資源の配分など、広範囲なことがらを対象としている。すなわち、これまで都市計画とか、交通政策、住宅政策、公害阻止などと、個別に扱われてきた都市問題を、全体的に把握しようということである。今後三〇年間に人口百万の都市が三千五百もふえ、六億戸の家が必要だといわれる。これに付随して、食糧、飲料水、貧困、衛生などの問題から資源・エネルギーや公害に至るまで、人間居住にとつて危機的な状況に発展することが予想される。今度の会議の目的は、これを未然に防ぐ総合的な対応策を国際的に考えようということにある。こうした問題は、今後人口の激増により汚水や下水道の不備、拡大するスラムといった古い問題と、スモッグや化学汚染という近代的問題が背中合わせに悪化していくことが予想される貧しい発展途上国において深刻であるが、豊かな先進工業諸国もこの危機から免れ得ない。ここに居住問題を世界的視野で解決する必要がある。

国連人間居住会議の開催は、四年前にストックホルムで開かれた国連人間環境会議で決まったもので、一九七三年末フイリッピンへのベニテス上院議員の下に会議の方向を決める準備委員会が設置されたのを手始めに、一九七四年にはコロンビアのペネロサ氏が議長に選ばれたほか政府準備委員会が設置されるなど、着々と準備が進められてきた。

今回の会議の特色は、ほかの会議と異なつて、問題分析に終始することなく、失業、公害、過密、スラム、交通、社会的疎外、犯罪といった居住問題に具体的にどう対処するか、その解決に力を入れることにある。各参加国はフィルム、スライド、テープ・レコーディングなどの視聴覚レポートによつて、それぞれの国における居住問題への取り組み方を説明し、これをもとに討議が行なわれる。これによつて、各国がそれぞれの経験を交流し、自国の居住問題に最も適した対処法を見つけだし、実施することが期待されている。

会議は継続的に開かれる総会と三つの主要委員会からなり、国内のおよび国際的居住政策立案の原則を宣言し、国際協力の即時行動計画および長期計画を進言するほか、国内の居住政策・戦術や居住



計画、計画の遂行機関、公益資源としての土地、住民参加、住居および基本施設などについて提案することになっている。

この政府間会議と平行して、五月二十七日からバンクーバー近郊の旧空軍基地で、各国の民間学者や専門家による非政府組織会議（ハビタット民間フォーラム）が開かれる。会場は同時通訳の設備がなされているほか、主会議場とはクロウズ・サーキットのテレビで結ばれていて、人間居住に関する種々の問題を政府間会議と同時に進行的に討議する。主な参加予定者は国際建築者組合、シエラ・クラブ、国際歩行者連盟、いろいろな教育団体、消費者運動家ラルフ・ネーダーなど。約一万人の参加が見込まれている。

* * *

「この会議を通じて、各国政府、そして世界全体は、最も貧しい人々の必要性に応えるよう、力を傾注してもらいたい。工業諸国にも、恵まれない人たちが何百万といる。ハビタット会議はこれら各国政府に状況の改善を説得すべきである。しかし、人口の大半は第三世界の農村と都市の無断居住地に住んでおり、これらも住み続けるだろう。これらのうち最も不幸な人々にとつて、この会議によつて各国政府が彼らの生き残るための最低限の生活を保証するならば、会議は意義があつたと言えよう」——ダンソン大臣。